

【2024 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神保健学Ⅱ	PSF22-015 OSF22-014	選択	2	2.3	後期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
播摩 友里子	講師控室	kyoumu		随時メールで質問等受付	
授業の目的・概要	<p><目的>精神の健康の基本的な考え方と精神保健学の役割、現代社会における精神保健の課題と精神保健福祉士の役割、専門機関や関連職種との役割、他の国々の精神保健の現状と対策について理解する。 <概要>「精神保健学Ⅰ」で学んだ内容をさらに深め、アルコール・薬物問題、自殺対策、虐待、ライフスタイルと心の健康等や、制度や施策、各関係機関の役割等を理解できるように、事例等を用いながら説明していく。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	インプットとアウトプットを大切に授業を進めていく。生活にも役に立つ知識が多くあるため、わからないことはそのままにせず、習得していくとよい。				
教科書	最新精神保健福祉士養成講座 2 現代の精神保健の課題と支援/編:一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版				
参考書	授業資料を提示する				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	現代社会の課題から精神保健活動が必要とされる領域や場を理解できる。			HSU(1)～(6)、RH(2)	
②	精神保健に関する調査、諸外国の取り組みについて理解できる。			HSU(4)、(6)、RH(2)	
③					
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション、授業概要を理解する。	講義	教科書を読む	4	
2	精神保健の課題と対策を学ぶ～災害・犯罪～	講義	教科書を読む 資料の復習・課題の提出	4	
3	精神保健の課題と対策を学ぶ～自殺～	講義	教科書を読む 資料の復習・課題の提出	4	
4	精神保健の課題と対策を学ぶ～自殺・グリーフケア～	講義	教科書を読む 資料の復習・課題の提出	4	
5	精神保健の課題と対策を学ぶ～身体疾患に伴う精神保健～	講義	教科書を読む 資料の復習・課題の提出	4	
6	精神保健の課題と対策を学ぶ～貧困～	講義	教科書を読む 資料の復習・課題の提出	4	
7	精神保健の課題と対策を学ぶ～社会的孤立・マイノリティー～	講義	教科書を読む 資料の復習・課題の提出	4	
8	精神保健の課題と対策を学ぶ～異文化・反復違法行為～	講義	教科書を読む 資料の復習・課題の提出	4	
9	精神保健の課題と対策を学ぶ～高齢化～	講義	教科書を読む 資料の復習・課題の提出	4	
10	精神保健の発生の予防を学ぶ～依存症関係～	講義	教科書を読む 資料の復習・課題の提出	4	
11	精神保健の発生の予防を学ぶ～自殺予防・虐待予防～	講義	教科書を読む 資料の復習・課題の提出	4	
12	精神保健の発生の予防と対策を学ぶ～高齢者～	講義	教科書を読む 資料の復習・課題の提出	4	
13	精神保健の発生の予防と対策を学ぶ～発達障害・引きこもり～	講義	教科書を読む 資料の復習・課題の提出	4	
14	精神保健にかかる法律・偏見差別を学ぶ	講義	教科書を読む 資料の復習・課題の提出	4	
15	精神保健にかかる関係機関を学ぶ 授業の復習・まとめ・試験対策	講義	教科書を読む 資料の復習・課題の提出	4	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイント参照				

【2024 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

		達成度評価					
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		70	0	0	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	20	0	0	0	10	30
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	10	0	0	0	10	20
	問題を発見・解決する力	20	0	0	0	10	30
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	定期試験（筆記試験：記述式＋選択式）により評価する。授業で配布した資料・説明内容から、学生が達成すべき行動目標に示した部分の理解度を問う問題を出題する。				試験の添削・開示を行う。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
	⑦						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
	⑦						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
	⑦						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
	⑦						
その他	①	✓	各講義でリアクションペーパーを利用した理解度チェックを行う。課題未提出は減点対象とする。				各講義のリアクションペーパーを活用して、解説・講評を行う。
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
	⑦						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	支援員として 20 年、内精神保健福祉士として 13 年の実務経験。（相談支援専門員：9 年）						
実践的授業の内容	実際のニュース、社会での出来事等から、教員自身が体験した実例を示し、課題を抽出したり、その対策等が考察できるよう学習していく。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉士国家試験受験資格取得の希望者は必ず履修すること。 ・新型コロナウイルス感染症の状況などの社会情勢によってシラバスを変更することがある。 ・全 15 回が登校授業（対面授業）であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。 						